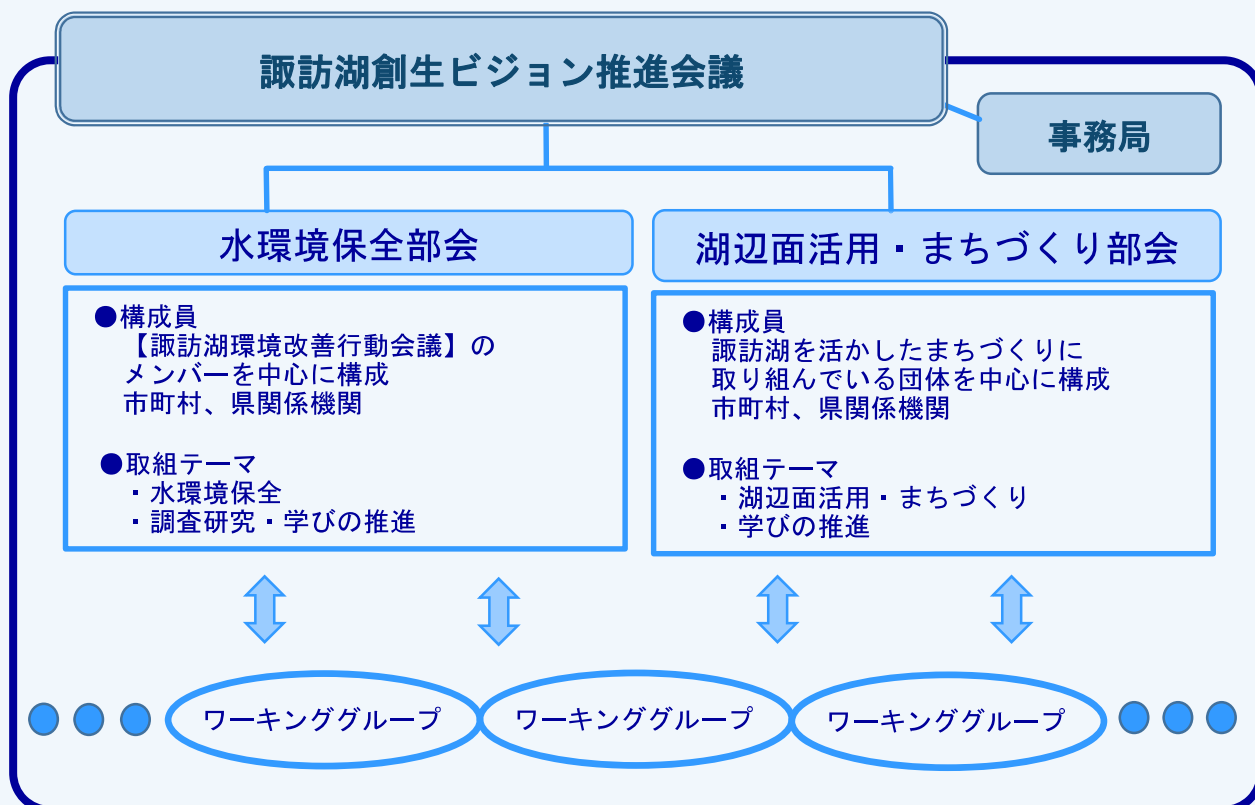


3 今後5年間の主な取組

取組分野	課題	主な取組
(1) 水質保全	- 全リンが環境基準を達成、COD及び全窒素は未達成 - 貧酸素水域の拡大 - ヒシの大量繁茂による、沿岸域での貧酸素、生態系への悪影響	ア 水質保全対策 - 透明度の目標値の設定 - 沈澱ピット・植生水路による栄養塩類除去 イ 貧酸素対策 - 底層溶存酸素（D0）の環境基準の当てはめ検討 - 地下水の湖内への流入や湖底形状の調査 - 重点的に貧酸素を解消するエリアの設定 - 機械力を活用した取組（ナノバブル）の実証 - 覆砂の拡大 ウ ヒシの大量繁茂対策 - 水草刈取船のほか、小型刈取船や手作業によるヒシの刈取り
(2) 生態系保全	- エゴ（入江状の水生植物帯）の再生など生物多様性に配慮した護岸整備が必要 - 湖畔における動植物の調査が不足 - ワカサギなどの漁獲量の減少	ア 多様な生息・生育基盤の創出 - エゴの再生に向けた調査研究 - 湖沼法に基づく湖辺環境保護地区の指定に向けた検討 - 多面的・公益的機能の発揮に向けた森林整備 イ 水生動植物の管理 - 生物多様性を創出する護岸整備 - 湖畔における動植物モニタリング調査の実施 - オオクチバスやブルーギルなど外来魚の駆除 ウ 漁業の振興 - シジミの生息環境となる覆砂 - 貧酸素対策などによる漁場環境の改善 - カワアイサ等魚食性鳥類及び外来魚対策の推進
(3) 湖辺面活用 ・まちづくり	- 安全に親水利用できる湖岸が少ない。 - 土砂堆積により船舶運航等に支障 - 安全なサイクリング・ウォーキングが困難 - 諏訪湖の魅力の活用が不十分	ア 水辺整備と湖辺面の利活用 - 砂浜の整備 - 堆積状況に応じた治水浚渫、船舶運航確保に向けた利水浚渫 - カフェの設置など河川空間のオープン化に向けた支援 イ 「諏訪湖周サイクリングロード」整備推進 - サイクリングロードの整備 - 休憩施設「小径（こみち）の駅」の整備 ウ 観光活性化のための整備 - ガイドサイクリングやカヌー等、民間団体等との連携 - 芸術・文化施設との連携 - SNSなどによるフォトスポットの情報発信
(4) 調査研究・学びの推進	- 水質浄化や生態系に係る研究課題が山積 - 調査研究、情報発信や環境学習のための拠点の整備が必要 - 住民の諏訪湖に対する関心の低下	ア 水質や生態系の保全に関する調査研究 イ 諏訪湖環境研究センター（仮称）の設置検討 ウ 学びの推進 - 官民連携による「諏訪湖読本」の作成 - 環境教育プログラムの作成 - 諏訪湖の案内人の育成 「諏訪湖の日」の制定検討 「諏訪湖学習ツアー」の実施

4 推進体制

- ・県、市町村、諏訪湖に関わる取組をしている団体や企業等のほか、個人も参加できる「諏訪湖創生ビジョン推進会議」を立ち上げ
- ・部会を設けてテーマごとに議論するとともに、具体的な事業についてはワーキンググループを立ち上げて機動的に取組を推進
- ・諏訪湖創生ビジョン推進会議において、それぞれの団体等が行う取組の進捗状況等を把握して関係者間で共有するとともに、住民の皆様にも広く公表し、より効果的な取組を検討



- 諏訪湖創生ビジョンの具体化に関心のある方は、団体だけでなく個人も参加できます。
- 官民連携での事務局体制を検討

全体版は諏訪地域振興局のホームページに掲載しています。

【<https://www.pref.nagano.lg.lg/suwachi/suwachi-kikaku/vision/kettei.html>】

【お問い合わせ先】

長野県諏訪地域振興局企画振興課

〒392-8601

長野県諏訪市上川1-1644-10

TEL 0266-57-2901

FAX 0266-57-2904

E-mail suwachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp



Ⅲ．諏訪湖かわまちづくり計画概要版

「諏訪湖かわまちづくり」(長野県、岡谷市、諏訪市、下諏訪町)

※1)

市町村名： 長野県 岡谷市、諏訪市、下諏訪町
対象河川： 天竜川水系 諏訪湖

1. 概要

岡谷市、諏訪市、下諏訪町にまたがる諏訪湖は、周囲に諏訪大社や上諏訪温泉、下諏訪温泉などの名所を抱える観光地です。

本計画では、充実した施設を有する背後地と水辺が一体化した魅力ある河川空間を創出するため、地域の特色を活かした防災船着き場や砂浜等の拠点整備を行うとともに、湖周のサイクリングロードとの連携により拠点をネットワークで結び、地域経済の発展に寄与できる利活用の推進を図ります。

2. 整備内容

【長野県】 浅場造成(砂浜整備)、護岸(防災船着き場)

【岡谷市】 ベンチ、看板、公園整備等

【諏訪市】 休憩施設整備等

【下諏訪町】 漕艇庫、防災公園等



※1) 国土交通省 関東地方整備局 河川部
http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000698561.pdf

かわまちづくり支援制度 ～良好なまち空間と水辺空間の形成～

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

【 支援制度による支援 】

＜ソフト対策＞

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント施設やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援

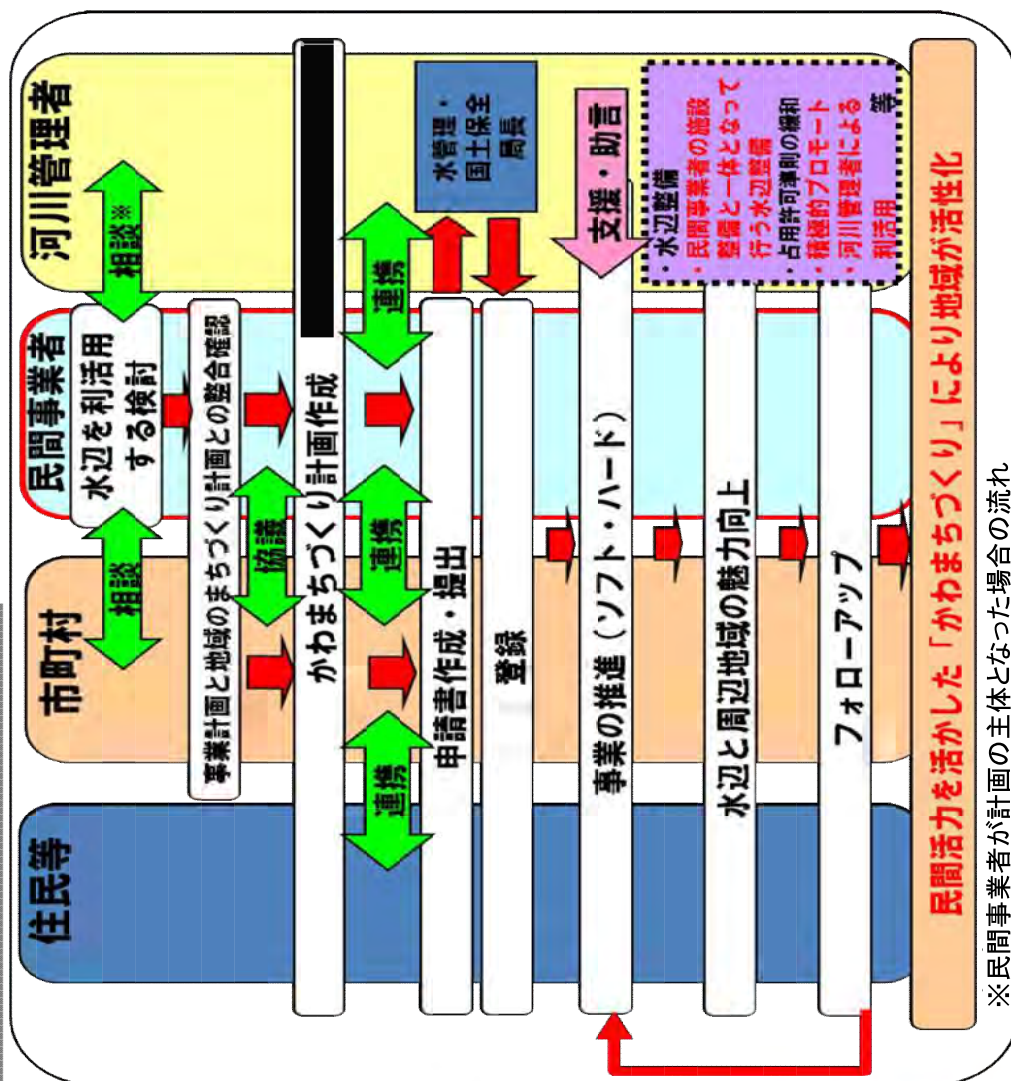
＜ハード支援＞

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

【 活用例 】



【 申請に関する手順フロー 】



IV. 諏訪湖水辺整備基本計画概要版

11 諏訪湖水辺整備基本計画策定の趣旨

諏訪湖では、水辺の景観、親水性への対応や岸辺の生態系の復元による水質の改善、水辺のヨシ等の抽水植物の復元などが求められ、平成6年度に水辺整備の基本構想「諏訪湖の水辺整備マスタープラン」を策定しました。

このマスタープランでは、湖畔を治水、親水、レクリエーション、景観、自然環境の観点から湖畔を8つのゾーンに区域分けし、整備の基本方針を示しています。

現在、その進捗は約9割に達しており、ボート、ヨット等の水上スポーツや湖畔のジョギング、散策などレクリエーション活動が活発になるなどの成果がみられます。マスタープラン策定から20年余が経過し、新たな課題や地域のニーズ等を踏まえ、マスタープランを引き継ぎ、今後の整備と利活用等の方向性を示す**諏訪湖水辺整備基本計画**を策定することとしました。

各ゾーンの整備方針に定めた事項が一定の効果を発揮し、地域に浸透していることから、水辺整備基本計画のゾーニング及び各ゾーンのテーマはマスタープランを踏襲しております。

3 概要版【ゾーン毎の取組】(2/3)の説明



2 諏訪湖水辺整備基本計画の基本的な方針

1. 諏訪湖やその周辺の環境の変化に応じた計画

▶ 水質が改善されてきた一方で、ヒシの大量繁殖、貧酸素水域の拡大などが問題となっている。

▶ 観光客の減少など諏訪湖を活かした観光振興などが求められている。

2. 水辺だけでなく、周辺と一体となった水辺の整備計画

▶ 陸域（後背地）、水域（湖内）を一体としてとらえた種々の利活用が求められている。

▶ 諏訪湖周サイクリングロード基本計画と連携した水辺の利用が求められている。

3. 防災機能を強化した計画

▶ 大規模地震や災害発生時の、船を利用した人員や物資輸送など、湖であることの特徴を活かした防災利用を求められている。

4. 多様な主体が係わる計画

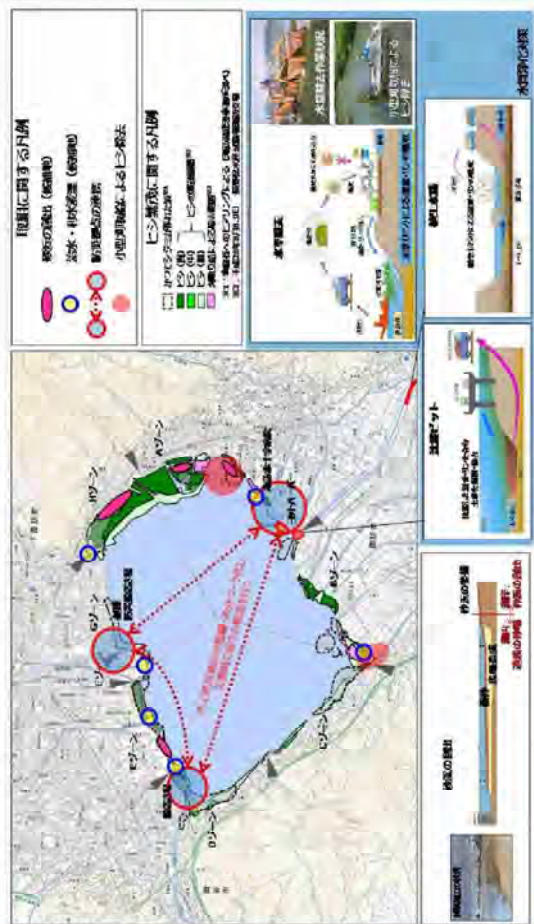
河川管理者だけでなく、市町、住民、各種団体などが協働した利活用が必要。

4 概要版【諏訪湖全体の取組】(3/3)の説明

ゾーニングの枠組を越えた主な取組を記載しています。

▶ 水上防災拠点の整備、治水・利水浚渫等

泳ぎたなくなる諏訪湖、シジミの採れる諏訪湖



諏訪湖水辺整備基本計画 概要版【ゾーン毎の取組】

2/3

Eゾーン 水辺の生物と人との交流する湖畔

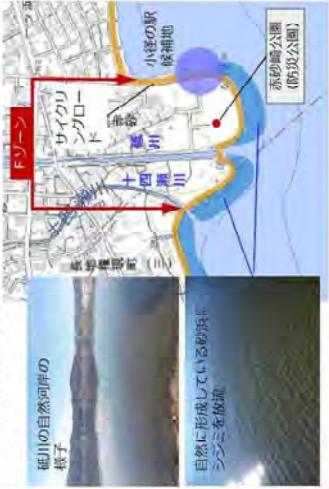
- ・砂浜整備による、水辺の生物とふれあえる空間



- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・堤内地に眺望を活かし、サイクリング利用者の利便性を考慮した公園整備
- ・サイクリングロードの整備による生物とのふれあいの創出

Fゾーン 湖面に浮かぶ自然と共生する湖畔

- ・諏訪湖の自然河岸の保全により水生動植物と共生できる水辺を復元し『シジミの採れる諏訪湖』を目指す



- ・堀川、堀川沿いは今でも良質な湖の自然河岸を保全していく。自然に形成されている砂浜に水生動植物の棲息地があるシジミを再生させる。『シジミの採れる諏訪湖』の創出を目指す。
- ・生態系に配慮した上で治水・利水施設等の適正な実施

Gゾーン 水上スポーツを楽しむ湖畔

- ・スポーツを楽しむ空間の機能向上、災害時における人員・物資輸送地点の整備



- ・災害時に船による人員・物資輸送の拠点となるため、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）

Dゾーン 釜口水門・大噴水をシンボルとした憩いの湖畔

- ・学習・体験の場としての釜口水門の利用により憩いの湖畔としての魅力向上



- ・水門カード（製作済み）の活用による釜口水門・大噴水の活用
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）

Hゾーン 湖の風景を楽しむ湖畔

- ・一面に広がる湖の風景を見ながら散策やジョギング等が楽しめる水辺の利用



- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）

Cゾーン 広々とした湖の風景を満喫する湖畔

- ・人工なぎざの活用と生物多様性を創出する藍岸整備による河川空間の創造



- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）

Aゾーン 賑わいとふれあいの湖畔

- ・水域、後背地との一体的な整備などによる、河川空間のさらなる魅力の向上



- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）
- ・「泳ぎたくなくなる湖」を実現するための、砂浜の創出（埋砂・浅場造成）

諏訪湖水辺整備基本計画 概要版 【諏訪湖全体の取組】

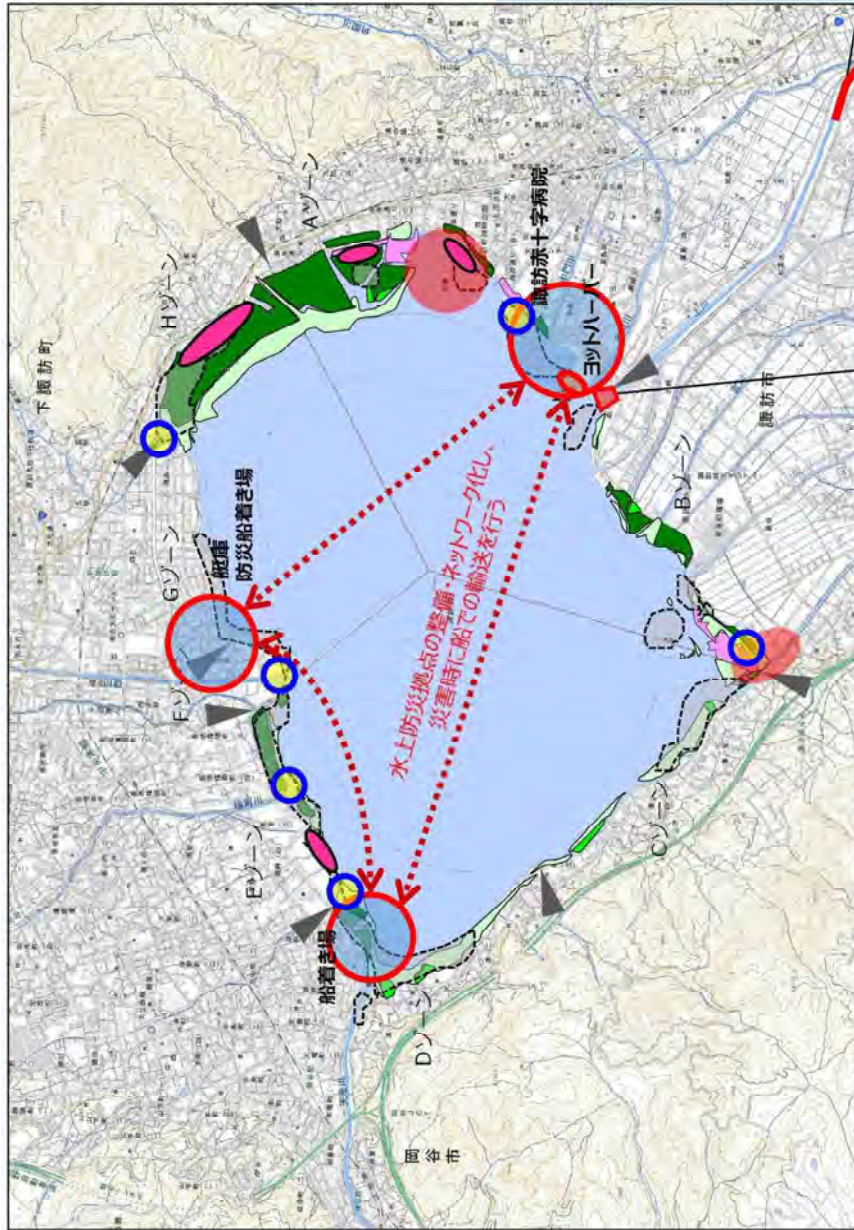
3/3

水上防災拠点の整備、治水・利水浚渫の実施等

- ・水上防災拠点の整備：船着き場を整備することで、水難事故発生時及び大規模災害時に要救護者や物資輸送の強化を図る。
- ・治水・利水浚渫：土砂の堆積が多い流入河川の河口部を中心とした場所で、治水浚渫を堆積状況を見ながら適宜行う。併せて川の流れが湖内へスムーズに流入するような掘削も検討していく。航路確保のための利水浚渫を、地域の要望を踏まえ、緊急性・公共性の高い箇所から優先的に実施していく。
- ・ヒシの刈取り：これまでの水草刈取船によるヒシの刈取りに加え、沿岸域と流入河川では小型刈取船によるヒシの刈取りを実施する。

覆砂（浅場造成）の試行：覆砂により浅場を造成する。

- ▶ 遠浅の湖岸を造成することで、親水（遊泳）活動ができる場とする。
→ 泳ぎたくなる諏訪湖
- ▶ 砂地の湖底とすることで、シジミ等が生息できる環境とする。
→ シジミの取れる諏訪湖



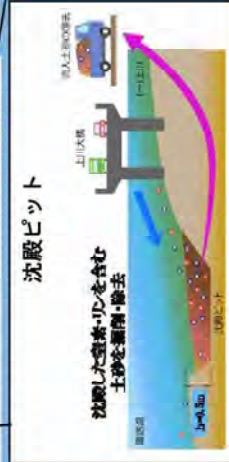
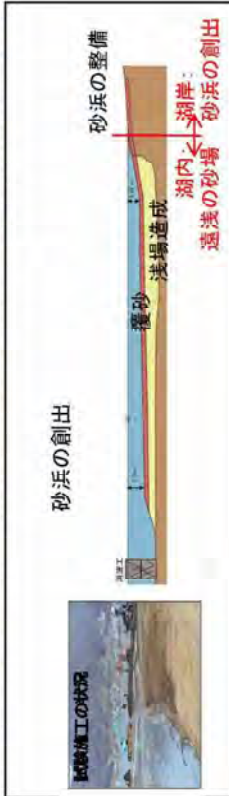
取組に関する凡例

- 砂浜の創出（候補地）
- 治水・利水浚渫（候補地）
- 防災拠点の連携
- 小型刈取船によるヒシ除去

ヒシ繁茂に関する凡例

- かつてシジミが繁った浜※1
- ヒシ（密）
- ヒシ（中）
- ヒシ（粗）
- ヒシ（相）
- 刈取り船による除去範囲※2
- ヒシの繁茂面積※2

※1：漁師等へのヒシリングによる（諏訪湖建設事務所調べ）
※2：平成28年8月8、9日 長野県水産試験場諏訪支場



水質浄化対策

V. 諏訪湖周サイクリングロード基本計画概要版

1. 基本コンセプト・整備イメージ

基本コンセプト

目指すべき姿

諏訪に住み、働き、集うすべての人々が、多様な目的に身近な交通手段として、自転車安全で快適に利用できる諏訪湖まわりのづくりを目指します。

整備の基本方針

4つの柱

安全・快適

健康・スポーツ

観光

環境

安全に、誰もが無理なく利用できる諏訪湖周辺のサイクリングスペースを整備します。

ジョギングロードと有機的に連携し、誰もが気軽に健康増進が図れるサイクリングスペースを整備します。

諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリングスペースの整備します。

これまで行われてきた施設整備や水辺の環境整備方針と整合し、眺望を楽しめるサイクリングスペースを整備します。

- ① 自転車・歩行者・自動車の適切な分離を基本とします。
- ② 環境特性・整備状況を考慮のうえサイクリングスペースの連続性を確保します。
- ③ 諏訪湖の眺望を楽しめるようにできる限り湖側に整備します。
- ④ 諏訪湖周辺の地形・植栽・景観への影響を最小限にします。
- ⑤ 休憩スペース（駐輪場・トイレ）を充実させます。
- ⑥ サイクリングロードを核としたまちづくりを官民連携して進めていきます。

整備内容

サイクリングロード

全体延長 約16.0km

波返し天端にジョギングロードを新設します

現在のジョギングロードをサイクリングロードにします

諏訪湖満水位
諏訪湖平常水位

県道岡谷茅野線の整備イメージ図

凡例

自転車 (15km/h以下)
歩行者 (ジョギング)
路肩を走行する自転車 (ロードバイク)

サイクリングロードの安全性の確保について

- サイクリングロードの幅員は3mの確保を目指し、対面通行をスムーズにします。
- わかりやすい案内と路面標示に統一します。

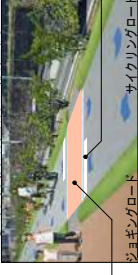
- 自転車の速度の抑制を喚起（おおよそ15km/h以下を想定）
- 歩行者との交錯箇所における注意喚起
- 自動車との混在箇所における幅寄せ注意喚起
- サイクリングロードを横断する歩行者横断指導線の設置

参考事例



歩行者横断帯をカラー舗装する

歩行者横断箇所の設置例



- イベントなど混雑が見込まれるエリアにおいては構造上の配慮をします。

- 諏訪湖畔公園、岡谷湖畔公園では、公園の外にサイクリングスペースを確保します。
- 分離する構造は、植栽や土による緩やかな凹凸がおこない。
- 安全上、防護柵が必要な箇所では着脱ができるようにします。

ジョギングロード サイクリングロード

イベント時には
収納してフラットに
できる分離柵

植栽や土による
緩やかな凹凸による分離

サイクリングロード

整備後のイメージ



1. 基本コンセプト・整備イメージ

休憩施設：小径の駅

諏訪湖周辺のジョギングロードやサイクリングロードを気軽に快適に快適に利用出来るように休憩施設として、「**小径の駅**」を設置します。この施設は、これまで整備されてきた施設（公園内のトイレ、ベンチなど）の活用を前提に、駐輪場などを新たに設置し、休憩スペースの充実を図ります。また、湖周に生息する昆虫類や植物の説明看板なども設置します。

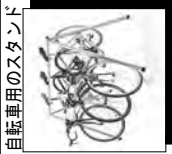
- 既存の施設（トイレなど）を有効利用します。
- 眺望スポットの観点から小径の駅を計画します。
- 健康増進の観点から小径の駅を計画します。
- 商業・観光・賑わい機能の観点から小径の駅を計画します。

候補の8箇所

- 湊湖畔公園
- 間欠泉センター
- 諏訪湖ハイツ
- すわっこランド
- 下諏訪みずべ公園
- 下諏訪赤砂崎公園



公園等にある既存のトイレ



自転車用のスタンド



案内サインのイメージ

楽しくサイクリングできる環境整備 ～官民の連携～

1. サイクルステーション&サイクルオアシスの整備

- サイクルスステーションを湖周に2～4箇所程度設置します。
⇒（候補地として **ロマネット** など）
- トイレの利用、飲み物等の購入、自転車の修理が可能な施設です。
- コンビニ等の既存施設ををサイクルオアシス（休憩所）に認定し、ステッカー等で明示します。
- レンタサイクル事業者等と連携して、乗り捨てできる仕組みを検討します。

2. ストレスなく情報収集できる環境の整備

- レンタサイクル施設、主要駅、観光施設などの情報をルートマップ（パンフレット）、スマホサイトで発信します。

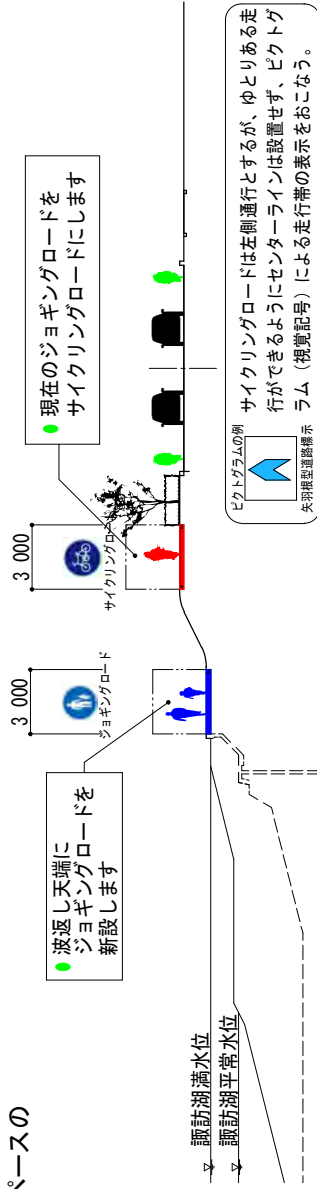
3. 周辺観光地と連携したサイクリングコースの設定

- サイクリングロードや、「まちなか観光」、「山岳高原」を活かしたコースなどニーズに応じた多彩なコースを設定します
- アウトドア用車いすの活用団体等と連携し、身体障がい者等向けの情報発信の強化をします。

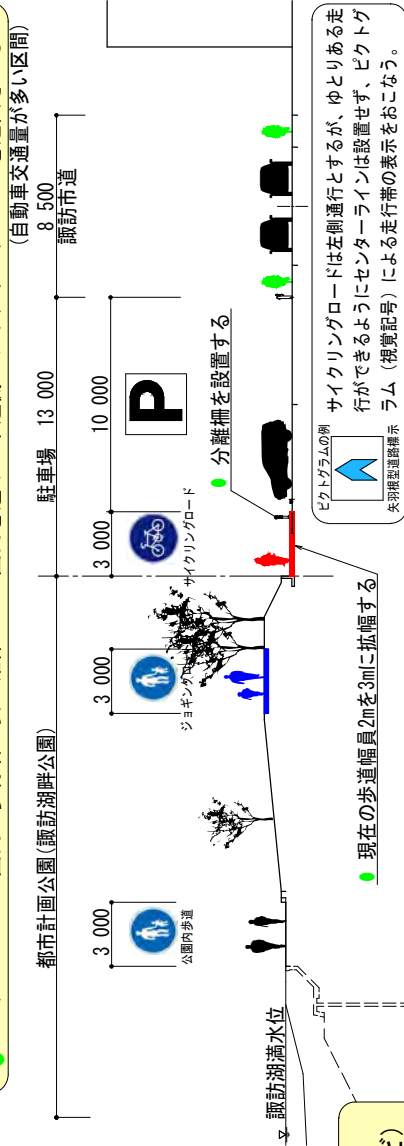
整備パターン

（主な3つのパターンを示します）

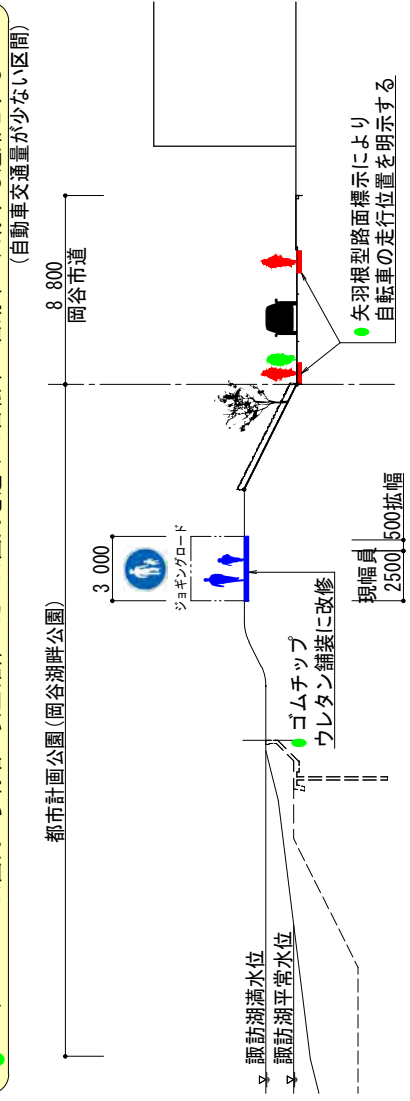
パターン1 現在のジョギングロードをサイクリングロードにする



パターン2 公園内の歩行者の安全確保ため公園内を避けて車道側にサイクリングロードを迂回させる



パターン3 公園内の歩行者の安全確保のため公園内を避けて自転車・自動車が共存する道路とする



2. 区間と基本計画 ～ 自転車通行区間の整備イメージ ～ (全体)

